地盤改良の添加量推定

スラリー混合

改良対象土質名	シルト質土			
quf :設 計 強 度	200			
qu ₂₈ :室内配合強度	600	$\mathrm{KN/m}^2$		
qu ₇ :1週 強 度	400			
wn:自然含水比	70	%		
$qu_{28}/qu_7 =$	1. 5			
安全率=室內配合強度 設計強度	3. 000			

 $\log q u_7 = A \log a + B \log w n + C$

$$\log a = \frac{\log q u_7 - B \log w n - C}{A}$$

宇部三菱セメント株式会社 「ユースタビラー技術資料補足資料」 (添加量と強度の関係参考図) による

** 最低添加量 (kg/m³)スラリー混合 70

砂質土	
シルト質土	
粘性土	
有機質土	

※ a:添加量(Kg/m³) Wn:自然岩水比(%)

混合様式	土質種別 A	Δ	В	С	相関係数	添加量 (kg/m³)		
		Α				log a	а	提案添加量
スラリー 混合	砂質土	0.86	-0.39	2.00	0. 91	1. 537	34	70
	シルト質土	1. 17	-0.84	2. 08	0.86	1. 771	59	70
	粘性土	1. 15	-0. 66	1.69	0.81	1.852	71	75
	有機質土	2. 16	-1.33	0.45	0. 78	2. 132	136	140

改良対象土質名	提案添加量
シルト質土	70 kg/m^3









